



唐津市立 小川小中学校

学校だより「小川っ子」

第3号

令和7年5月23日発行

文責 校長 吉原 正

学校教育目標【自立 貢献】～挑戦する子どもたち～

【新競技～挑戦する子どもたち～】

5月17日（土）に体育大会を開催しました。来賓、職員、保育園、島民、島外から約80人の参加がありました。育友会の皆様には、事前の草刈りもありがとうございました。

挑戦する子どもたちを育てるため、今回は、「時間は30分、自分たちで企画・運営」という条件で新競技について話し合ってもらいました。始めは「玉入れ」「大玉転がし」「台風の目」「綱引き」「竹取り」「段ボールリレー」「二人三脚」「ムカデ競走」など様々なアイデアが出ました。次に、「段ボールリレーは風の影響を受けやすい。」「30分で運営できるには3～4つだろう。」などの意見がでましたが、競技数をしぼることができずに、時間だけが過ぎていきました。

そして、粘り強く議論を続けた結果、「保護者や島民が参加しやすく、作戦や協力することができる種目は、どの組み合わせが適当か。」という議論に発展しました。

多数決で解決するのではなく、議論を通して解決した子どもたちは大きく成長したと思います。

当日は中学生がコーンを並べたり小学生に指示したりする頼もしい姿を見ることができました。この写真は竹取りの写真です。始めは2人で引っ張りあっていたのですが、小学生8人全員が引っ張り合うことになり、会場は一番の盛り上がりを見せました。閉会式の講評で児童生徒代表が、「話し合うのは大変でしたが、やってよかったし、来年もやってもらいたい。」と後輩にエールを送っていました。これからも子どもたちが考える場面を作っていきたいと思います。



自分たちで考えた新競技の一つ「竹取り」

【吉川工業はなぜ小川島に貢献するのか】

吉川工業という会社を御存知ですか。創業者は小川島出身の吉川林蔵さんです。林蔵さんは、12歳から小川島の捕鯨会社で働き始めたそうですが、当時、島の大火事で多くの家が消失したことがきっかけで、左官（家の壁を塗る仕事）を始め、その左官業に専念するために北九州に移り住んだそうです。

ある日、妻が病気から回復したときに、何か恩返しをしたいと考え、自分たちのように地方から出稼ぎに来た人たちが泊まれる宿屋を始めたそうです。お金がなくて困っている出稼ぎ者には無料で泊ませ、弁当まで渡したそうです。

そんなとき、ある出稼ぎ者から「八幡製鉄所が鉄くずの処理に困っている」と聞き、鉄くずを処理する機械を開発して、息子の源市さん（2代目社長で小川小中学校に旧図書室・理科室棟を1972年に寄贈）と1920年に吉川組を始めました。

今では従業員1600人の大きな会社に成長しました。何か恩返しをしたいという林蔵さんの思いは、100年以上たった今でも大切に受け継がれ、新入社員の方々は、毎年小川島を訪れ、プール掃除、テント張り、中学生向け講話、吉川家の墓掃除、田島神社清掃などの地域貢献活動を続けておられます。

中学生向けの講話では、7人の新入社員から「高校では5分前行動をしなかったことで怒られたが、社会人になったらそれが当たり前だということがよく分かる。」「進路選択では、自分が何にワクワクするか、何を知りたいかを大切にしてほしい。」など実体験に基づいたアドバイスがありました。中学生からは、「時間に遅れるときは、まず連絡する。」「自分の強みや性格を理解することが大切だ。」「失敗を次の成功につながるように努力したい。」「周囲に合わせすぎない。」という感想が聞かれました。



テント設営



プール掃除



中学生向け講話

【6月～7月の主な行事】

6/2(月)	育友会挨拶運動	6/25(水)	金子産業の食育授業 【小】 老人会との交流
6/4(水)	【中】 修学旅行 6/6まで	6/29(日)	【中】 地区中体連（個人戦）
6/7(土)	日曜参観 防災教育	7/3(木)	【中】 玄海みらい学園との交流
6/9(月)	振替休日	7/8(火)	【小】 平和集会
6/11(水)	学校評議員会	7/9(水)	離島交流 加唐島訪問
6/12(木)	【中】 高校説明会	7/10(木)	授業参観 AED講習会 【小】 水泳大会
6/16(月)	教育相談週間	7/16(水)	【小】 洋菓子づくり体験
6/18(水)	【中】 期末テスト 6/19まで	7/18(金)	終業式